

RFMD ニュース



会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.
Brian K. Cockman, Public Relations Specialist
7628 Thorndike Road
Greensboro, NC 27409-9421, USA
電話: +1 (336) 678-8945
bcockman@rfmd.com

rfmd.com

RFMD 社、PowerStar® II 出力制御技術を採用した EDGE 送信モジュールを発表

**PowerStar® II 出力制御技術を用いた RF3203 は
GSM/GPRS/EDGE 端末の総輻射電力 (TRP) 性能を改善する**

ノースカロライナ州グリーンズボロ、2007年2月 14日 : 移動通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム/ソリューションを設計、製造し業界をリードするRFMD社(ナスダック:RFMD)は本日、総輻射電力 (TRP) および電磁波吸収率 (SAR) の改善に効果的なPowerStar® II技術を採用したGSM/GPRS/EDGE端末用送信モジュール、RF3203を発表した。なお「PowerStar」パワーアンプは、業界ベストセラーの出力制御技術が特長。

RF3203は、RFMD社が業界をリードするリニアEDGEパワーアンプをベースに、スイッチ機能を内蔵させPowerStar II出力制御技術を適用したデバイスで、PowerStar II出力制御技術により定格出力時のシステム効率が向上し、TRP性能が改善される。TRP性能の向上は、電池条件、温度条件、アンテナ不整合等の環境条件の変化に対する感度を低下させることで可能になる。RF3203はアンテナ不整合(3:1)時の出力変動を±1dB以内に抑えると共に、電流変動も50%低減する。

「今回のRF3203の発表は、送信モジュールやEDGE技術での当社のリーダーシップと、次世代「PowerStar II」出力制御技術の利点とを組み合わせることにより達成されました。またRF3203は、最新のTRP要件を完全に満足する初めてのリニアEDGE送信モジュールです。RF3203は各端末メーカーにとって重要とされる指標、すなわち実装コストの低減、信頼性向上、性能向上に有効です。」とRFMD社のセルラー製品グループ担当副社長のエリック・クレビストンは語る。

総輻射電力 (TRP) とは、たとえばアンテナの不整合状態など、最適化されていない状態で携帯端末が送信可能な出力電力のことである。アンテナの不整合は、アンテナ自体の効率が悪い場合や、端末が金属面に接近した場合など、様々な要因で発生する。端末が不整合なアンテナで送信すると、所定の出力レベルに未達のため通話が切断される場合があるだけでなく、所定の出力レベルを超えてしまうために通話時間が短くなったり、通話の品質低下が発生したりする場合もある。RFMD社はTRP性能の改善に積極的に取り組んでおり、呼接続が失敗する頻度を減らし、ネットワークの覆域や効率、データのスループットを向上させることの可能なTRP性能改善技術を既に開発している。

RF3203は有害物質の使用制限 (RoHS) に完全に適合しており、また製品は2007年の第2四半期に発売の予定。

RFMD 社について RF Micro Devices, Inc. (NASDAQ RFMD)社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバルリーダー。RFMD 社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ(SOC)ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク(WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク(WPAN)、全地球測位システム(GPS)などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のある RFMD 社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置くRFMD社はISO 9001 およびISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD社はRFMD銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報はRFMD社のホームページ、www.rfmd.comに紹介されている。

このプレスリリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外にも含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® およびRFMD®はRFMD, LLCの商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###